

平成30年度 第2回学校運営協議会 議事録

校名	府立西淀川支援学校
校長名	大角 正弘

開催日時	平成30年10月29日(月)10:00～11:30
開催場所	府立西淀川支援学校 2階 図書室
出席者(委員)	閑喜会長、田中委員、梶原委員
出席者(学校)	大角校長、森本教頭、古川教頭、松本事務長、松下首席
傍聴者	0名
協議資料	平成30年度学校経営計画及び学校評価について
備考	

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度学校経営計画及び学校評価について ・その他 	

協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>平成30年度学校経営計画の進捗状況について説明を行い、これについて協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の指導計画については、「個別の教育支援計画」との差異を理解していない面があるようです。ともに保護者の参画が重要なものですから、今後刷新した様式をもとに確実に作成を進めていくこととします。 ・訪問教育においてテレビ会議システムが整うなど、教育活動におけるICT機器の活用は進んでいます。一方、ホームページについての評価が低くなっています。普段見れない遠足時などの様子が知りたいのでホームページを活用できないかとの意見や、今秋の各部修学旅行では安心安全メールを利用して旅行中の様子を配信しましたが、児童生徒の顔写真掲載をしなかったところ、後ろ姿でよいので様子がわかるような画像配信を希望したいとの意見が寄せられました。テレビ会議の仕組みやホームページについては、保護者、地域への情報発信という観点があるので、もっと活用を進めていきたいと思います。 ・福祉医療関係人材事業(PT、OT、STの活用)を利用した仕組みでは、普段のセラピストとは異なる意見があり保護者が混乱したことがあったので、活用時は保護者も同席したいとの意見がありました。この事業は教員の専門性向上を目指して各種アドバイスをもらう仕組みですが、保護者の意向に沿うことは可能です。 ・11月に開催される「全国肢体不自由教育研究協議会」では、本校から「視線入力装置の活用実践」についてポスター発表を行います。授業参観時に、この視線入力装置を活用した授業を見て感動した、との感想をいただいています。 ・来年度、中学部と高等部の統合を検討しています。統合に際しては、教育課程の連続性や教育の質を高めることや、医療的ケアが遺漏なく実施できるようにすることなどを念頭におきながら行うことが重要とのご意見をいただきました。 ・防災の仕組みでは、停電についてや、津波襲来時の避難場所について懸念が出されました。現在の防災プランを改定・更新していく中で、積極的に防災プランを発信していくことで保護者の理解も深まり安心につながるのではないかとのご意見をいただきました。 	

次回の会議日程	
日時	平成31年2月中旬予定
会場	